（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	Yくまーず未来kazaoka津島1st			
○保護者評価実施期間	Ｒ８年10月１日	～	Ｒ８年10月20日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	２１人	（回答者数）	１６人
○従業者評価実施期間	Ｒ８年10月10日	～	Ｒ８年10月15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	５人	（回答者数）	５人
○事業者向け自己評価表作成日	Ｒ８年11月２日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・その日の様子を分かりやすく記録や送迎での引き継ぎにて保護者の方にお伝えしている。	・記録を写真付きで作成して報告している。内容によってはお電話などで詳細も報告をするなど、必要に応じて対応している。	・児童の様子観察、記録の表現や支援方法など、支援技術の向上を目指して研修や勉強会を開催し取り組んでいきたい。
2	・支援についての計画、モニタリング、会議は必ず全員参加し支援の質の向上を目指し、情報共有や支援アイデアを出して会議を行っている。	・児童のモニタリングは職員全員に一度紙に記載してまとめ、その後情報共有をしている。相談支援専門員の方がモニタリングで来所された場合にもその時の様子や気になることを報告、共有している。	・同じグループ内の別の事業所を見学や交流するなど研修の機会を作って研修会を開催し個々のレベルアップやチーム支援の更なるアイデアを促していきたい。
3	・様々な活動を提供している。職員皆で担当を決めて役割分担して活動を行っている。	・児童によっては難しい活動内容もあり、予め難しいと判断した場合には個別で別の活動を準備して対応している。	・児童自身のやりたいをさらに取り入れて活動を設定し、楽しくまた目標に対して頑張ることができるような活動を目指していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の他の子どもとの交流する機会がない。	・平日利用の児童については他者との関わりよりも個々の課題についての支援を重要視しているため	・土曜日について、比較的自立している児童が多いため地域の方との交流もできる可能性がある。今後検討していきたい。
2			
3			